

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千二百二十八號

海軍大臣官房

昭和十七年十月二十八日(水)

○ 通 牒

海人第一六七號

昭和十七年十月二十六日

海軍省 人事局

部内各廳御中

新タニ任命セラレタル見習尉官ニ對スル
現役海軍士官名簿電報符ノ件通知
九月三十日任命セラレタル海軍軍醫科、藥劑科、主計科、技術科、齒科醫科及法務科各見習尉官ニ對スル電報符ヲ左記ノ通定メラレ候

海軍軍醫見習尉官高藤次夫ヲ「B二二三三」、海軍藥劑見習尉官種田憲次ヲ「A九二」、海軍主計見習尉官佐々木 浩ヲ「P二〇七四」、海軍造船見習尉官川島榮一ヲ「C二八五」、海軍造船機見習尉官辻 好三ヲ「C一〇三三」、同鎌田重夫ヲ「C一五〇」、同柚木彬滋ヲ「C二五〇ノ二」、海軍造兵見習尉官坂本 弘ヲ「C三二〇三」、海

軍齒科醫見習尉官澤田郁夫ヲ「D四」、海軍法務見習尉官設樂敏男ヲ「T五一」トシ各任命順序ニ從ヒ順次相當番號ヲ附與ス

○ 辭 令

和久利 順

海軍省軍需局ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(海軍省)

正四位勳四等 佐藤 鼎

海南警備府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク

味岡 馨

「マニラ」地方海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上六同)

市東 傳治

第四艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千六百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(七同)

海軍公報(部内限) 第四千二百二十八號

昭和十七年十月二十八日

一一三七

大倉 喜六郎

第三百三海軍經理部兼第三百三海軍軍需部ニ於ケル事務
囑託ヲ解キ第三南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇
トス(ハ同)

陸軍獸醫中尉 今後 滋雄
南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

池田 福次

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス(以上ハ同)

陸軍獸醫中尉 今後 滋雄

海南警備府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

池田 福次

海南警備府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇
トス(以上ハ同)

堀村 眞

海軍航空技術廠ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官
待遇トス(ハ同)

税關事務官 橋本 利八
佐世保鎮守府ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(ハ同)

三熊 文雄

海軍省南方政務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス

眞藤 恒

(各通)
海軍艦政本部ニ於ケル造船業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(以上ハ同)

吉本 勇

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇
トス(ハ同)

大河原 肇

第廿遣支艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇
トス(ハ同)

申部 道

赤城丸ニ於ケル通信事務ヲ囑託ヲ解ク

勳八等 森山 秀吉

海軍省事務囑託ヲ解ク(以上ハ同)

從四位勳四等 小野 孝

軍令部ニ於ケル編纂事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス

藤 隆

(各通)

海軍省經理局ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千五百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

高橋 守一
横山 涉

第二海軍火藥廠工員養成所教務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

石橋 當二

軍令部ニ於ケル編纂事務ヲ囑託ス

西村 通男

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(以上同)

栗田丸ニ於ケル通信事務囑託ヲ解ク (同)

脇野 正矣

海軍航空本部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク (同)

高橋 謙

海軍省事務囑託ヲ解ク (同)

濱田 吉治郎

第四十一海軍軍用郵便所員ヲ免ス (同)

事務員 黒田 重信

第四海軍軍用郵便所員ヲ免ス (同)

遞信局書記 風 間 肇

第二海軍軍用郵便所長ヲ免ス (同)

遞信局事務官 生野 豊水

海軍豫備學生 春日 新吉郎

同 藤尾 芳男

同 成田 千二

臨時大湊警備府司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之ヲ免ス

田中 兼壽

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

松岡 敬信

海軍省事務囑託ヲ解ク

通信書記補 甘利 茂

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金貳拾圓ヲ贈與ス

海軍主計少佐 佐野 純雄

第二課勤務ヲ命ス (同)

海軍技手 佐野 義人

第二部第三課勤務ヲ命ス (同)

同 陽 清

第二部第三課勤務ヲ命ス 海軍中佐 田宮 百之

第一部第二課勤務ヲ命ス(以上二名同) 海軍技手 山口 嘉一

水路部附兼第八艦隊司令部附海軍技師 横井 鎮男

主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(水路部長)

水路部附兼第八艦隊司令部附海軍技手 田中 作次

主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(水路部長)

水路部附兼第十一航空隊司令部附海軍技手 村田 新吉

水路部附兼上海海軍航路部附海軍技手 山原 俊雄

(各通)

同 粕谷 信吉

同 志村 輝昭

主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(十名)

○ 雜 款

○事務所設置

第六號掃海特務艇裝具事務所ヲ十月十二日大阪市住吉區北加賀屋町浪速船渠株式會社内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

呂號第六六、百七潜水艦裝具事務所ヲ十月十五日吳海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

驅逐艦初月艦裝具事務所ヲ十月二十一日舞鶴海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務開始
相模野海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ十月十五日横須賀海軍航空隊相模野分遣隊内ニ於テ開始セリ

○事務所移轉

香取海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ十月二十三日千葉縣海上郡旭町千潟ニ移轉セリ

追テ郵便物ハ

千葉縣海上郡旭町千潟海軍施設事務所宛

鎮海防備戰隊司令部殘務整理事務所ヲ鎮海警備府内ニ移轉セリ

○事務所撤去

第三十六號驅潜艇裝具事務所ヲ十月十五日撤去セリ

呂號第三百三潜水艦裝具事務所ヲ十月二十日撤去セリ

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年十月二十八日(水)
海軍大臣官房

○表彰

賞状

海軍技師 細谷 資英
大水槽加速試験装置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ金貳百五拾圓ヲ授與ス
(昭和十一年十月二十三日海軍大臣)

日本光學工業株式會社技師 砂山 角野
九一式機上觀測鏡ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一箇並ニ金參百圓ヲ授與ス
(昭和十二年八月十五日海軍大臣)

海軍造兵中佐 島本 克巳
小水槽試験法ノ確立並ニ飛行機用要具ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令

ニ依リ銀杯一組並ニ金六百圓ヲ授與ス

(昭和十三年七月二十四日海軍大臣)

海軍技師 溝口 正夫
惡性錐揉防止ニ關スル研究ヲ確立シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ徽章並ニ金八百圓ヲ授與ス
(昭和十三年八月二十日海軍大臣)

海軍造兵大佐 樺山 喜造
照明投彈照明法ノ研究及遠心力試験機、電熱式ピトー管ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一組並ニ金五百圓ヲ授與ス
(昭和十六年九月十日海軍大臣)

徽章 金九百圓 海軍大佐 井土 益三
同 同 海軍造兵少佐 早川 仁
銀杯一組 金四百圓 海軍造兵大尉 服部 一朗

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

金貳百圓 海軍造兵大佐 野村 元次

五號爆彈ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍技手 宮本 隆

五號爆彈ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章令ニ依リ金百圓ヲ授與ス

徽 章 金八百圓 海軍大佐 堀内 多雄

同 金七百圓 海軍中佐 有坂 磐雄

九六式空二號無線電信機ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍造兵中尉 堀川 正

九六式空二號無線電信機ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章令ニ依リ木杯一組並ニ金貳百五拾圓ヲ授與ス

日本無線電信電話株式會社

九六式空二號無線電信機ヲ完成シ帝國海軍ニ貢獻スル

所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ茲ニ之ヲ賞ス

海軍造兵大佐 佐々川 清

甲鍍表面焼入法ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ徽章並ニ金七百圓ヲ授與ス

海軍大佐 北川 茂春

光學兵器防震裝置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一組並ニ金貳百五拾圓ヲ授與ス

(以上昭和十七年五月二十七日海軍大臣)

銀杯一組 金五百圓 海軍大佐 磯 惠

徽 章 金九百圓 同 松尾 實

同 同 海軍造兵大佐 大島準一郎

銀杯一箇 金參百圓 海軍中佐 岩島 二三

徽 章 金七百圓 海軍造兵少佐 寺田 重義

九八式發砲裝置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

銀杯一組 金五百圓 海軍技師 中村 良雄

銀杯一箇 金貳百圓	海軍技手 增田 勝美	九六式陸上攻撃機及一式陸上攻撃機ヲ完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ茲ニ之ヲ賞ス	三菱重工株式會社
同 金貳百圓	同 小野 清重	九六式陸上攻撃機及一式陸上攻撃機ノ製造ニ方リ克ク製作會社ヲ指導シ之ヲ完成セシメタルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ茲ニ之ヲ賞ス	海軍 航空 技術 廠
銀杯一箇 金貳百圓	海軍技師 荒木 良雄	九六式陸上攻撃機及一式陸上攻撃機ノ製造ニ方リ海軍航空技術廠ト協力シ之ヲ完成ヲ援ケ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ茲ニ之ヲ賞ス	橫須賀海軍航空隊
九八式發砲裝置ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス			
銀杯一箇 金參百圓	海軍中佐 小島 正巳		
同 金貳百圓	同 海軍造兵大佐 松山 寬慈		
同 金貳百圓	海軍技師 立川 隆		
同 金貳百圓	海軍造兵少佐 瀨石 松高		
同 金貳百圓	同 野間口 光雄		
五號爆彈ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス			
金貳百圓	海軍造兵大尉 原 稔		
同 金貳百圓	海軍技師 鈴木 虎夫		
銀杯一箇 金貳百五拾圓	海軍技手 松森 庄平		
五號爆彈ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス			
		九二式射擊盤及九一式高射裝置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ徽章並ニ金八百圓ヲ授與ス	海軍大佐 小林 秀雄
		九二式射擊盤及九一式高射裝置ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠	元海軍技師 仁禮 正平

海軍公報 (部内限) 號外

三

金貳百五拾圓

日本光學工業株式會社技師 松谷 五郎

九一式機上觀測鏡ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所
洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)
ヲ授與ス

日本光學工業株式會社技師 山崎 保

九一式機上觀測鏡ノ考案ニ方リ克ク之ガ完成ニ寄與セ
ルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功
章令ニ依リ茲ニ之ヲ賞ス

徽 章 金七百圓

海軍技師 田中 修吾

銀杯一組 金四百圓 海軍造兵大尉 赤松 速雄
航空發動機平軸承ノ性能向上ニ關スル研究ヲ完成シ帝
國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令
ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

銀杯一箇 金貳百五拾圓

海軍技師 佐藤 忠雄

同 金百圓

海軍技師 吉成 頼尙

無ニツケル高力銅合金ノ研究ヲ完成シ帝國海軍ニ貢獻
スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭
書ノ通)ヲ授與ス

金貳百五拾圓

海軍技師 細田 市郎

銀杯一箇 金貳百圓

同 宇野 昌一

尿素接着劑ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大
ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍技師 高橋 公

尿素接着劑ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ
寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章
令ニ依リ金百圓ヲ授與ス

銀杯一箇 金參百圓

海軍技師 松井 晋作

木杯一組 金貳百圓

海軍技師 原田 卓朗

水晶式可搬測壓器ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所
洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)
ヲ授與ス

海軍技師 八坂 榮次郎

二十五耗機銃銃架架構及銃鞍鑄造法ヲ考案完成シ帝國
海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ
依リ金百五拾圓ヲ授與ス

銀杯一組 金五百圓

海軍技師 石原 昇

同 同

海軍造兵大尉 服部 一朗

金貳百五拾圓

海軍造兵少佐 早川 仁

九九式特殊彈頭及彈底發火裝置ヲ考案完成シ帝國海軍

ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ
(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍技手 宮本 隆

九九式特殊彈頭及彈底發火裝置ノ考案ニ方リ克ク上司
ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠
仍テ海軍技術有功章令ニ依リ金百圓ヲ授與ス

海軍中佐 赤柴 千仗

爆撃演習機ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大
ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一組並ニ金五百
圓ヲ授與ス

海軍技師 丹野 舜三郎

爆撃演習機ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ
寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章
令ニ依リ金百圓ヲ授與ス

日本無線電信電話株式會社

零式空四號無線歸投方位測定機ヲ考案完成シ帝國海軍
ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ
茲ニ之ヲ賞ス

金貳百五拾圓

海軍造兵大尉 關堂 可雄

金貳百圓

海軍造兵中尉 粟田 孝

金百圓

海軍技手 亀井 瀧治

零式空四號無線歸投方位測定機ノ考案製造ニ方リ克ク
製作會社ヲ指導シ之ヲ完成セシメタルハ帝國海軍ニ貢
獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各
頭書ノ通)ヲ授與ス

木杯一組

金參百圓

海軍技師 阿部 末吉

同

金貳百圓

同 菱沼 勇

光學兵器防震裝置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所
洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)
ヲ授與ス

銀杯一組

金四百圓

海軍大佐 北川 茂春

銀杯一箇

金貳百圓

海軍少將 片岡 太司郎

同

同

海軍造兵大佐 青木 小三郎

銀杯一組

金四百圓

海軍造兵大尉 竹内 菊雄

九八式安定儀ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ
大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ
授與ス

金百五拾圓

海軍技手 池本 寛

同

海軍造兵中尉 水野 正之

同
海軍造兵大佐 松田 貞良
九八式安定儀ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍造兵大佐 佐々川 清
超高温度測定用熱電對及同保護管ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一箇竝ニ金四百圓ヲ授與ス

海軍造兵大尉 古澤 猛 彌
航空光學兵器用空技廠式氣泡水準器ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一箇竝ニ金四百圓ヲ授與ス

海軍中佐 村田 美 穂
航空光學兵器用空技廠式氣泡水準器ノ考案ニ方リ克ク指導之ガ完成ニ寄與セルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ金參百圓ヲ授與ス
金百五拾圓
海軍造兵中佐 岡本 林 藏
同 實験工長 富田 隆

航空光學兵器用空技廠式氣泡水準器ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所

不尠仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍造兵大佐 佐藤 一 昌
八八式機雷ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一箇竝ニ金參百圓ヲ授與ス

元遞信技師 難波 捷 吾
金參百圓

元遞信技師 塚田 太 郎
銀杯一箇 金參百圓

陸上用短波方位測定機ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍造兵大佐 渡 邊 武
銀杯一組 金五百圓

海軍造兵大尉 井上 成 恭
銀杯一箇 金參百圓

革衛帶ヲ改良完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授與ス

海軍造兵中佐 高田 久 三郎
金貳百圓

海軍中佐 曾田 隆 宗
銀杯一箇 金貳百圓

海軍大佐 宇佐美 治 作
銀杯一組 金五百圓

海軍造兵大尉 伊藤 庄 衛
銀杯一箇 金參百圓

九二式艦底測程儀ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所

洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授興ス

海軍造兵中佐 閑歳 修吉

九三式探信儀ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一箇竝ニ金參百圓ヲ授興ス

海軍主計特務大尉 稻積 包智

海水ニテ豆腐ノ簡易製造法ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ銀杯一組竝ニ金四百圓ヲ授興ス

海軍主計兵曹長 中村 幸雄
金百圓 海軍一等主計兵 吉本 千代喜

海水ニテ豆腐ノ簡易製造法ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ海軍技術有功章令ニ依リ(各頭書ノ通)ヲ授興ス

(以上昭和十七年八月一日海軍大臣)

海軍造兵大佐 野村 元次

九九式特殊彈頭及彈底發火裝置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ

銀杯一組竝ニ金五百圓ヲ授興ス

(昭和十七年八月二十一日海軍大臣)

海軍公報 (部内限) 號外

九

海軍公報

(部内限) 第四千二百二十九號

海軍大臣官房

昭和十七年十月二十九日(木)

○令 達

官房第六三三三號

酒保設置規程中左ノ通改正ス

昭和十七年十月二十九日

海軍大臣

第一條中「下士卒」ヲ「下士官及兵」ニ改ム

第八條第一項中「軍醫官」ヲ「軍醫科士官」ニ改ム

第九條中「上長官」ヲ「士官」ニ改ム

第十三條 廢廳ト爲リ若ハ酒保員僅少ト爲リ又ハ其ノ

他ノ事由ニ因リ酒保存置ノ必要ナキニ至リ酒保ヲ閉

鎖スル場合ニ於テ之ガ清算ノ結果生ジタル殘餘財產

ハ其ノ艦船部隊ノ在籍又ハ所管鎮守府ノ所在地ニ在

ル財團法人海仁會支部ヲ經由シ海仁會本部ニ之ヲ寄

附スルモノトス

第十四條 艦船部隊ニ於テ酒保ヲ設置スル場合ニ於テ

其ノ資金ニ不足アルトキハ其ノ在籍又ハ所管鎮守府

ノ所在地ニ在ル財團法人海仁會支部ヲ經由シ海仁會本部ニ之ガ借入ノ申込ヲ爲スコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際舊第十三條ノ規定ニ依リ鎮守府副官ノ現

ニ保管ニ係ル現金及預金並ニ艦船部隊ニ於ケル酒保ノ

資金トシテ鎮守府副官ノ現ニ貸付中ニ係ル貸付金債權

ハ其ノ計算ヲ明ニシテ速ニ之ヲ該鎮守府所在地ニ在ル

財團法人海仁會支部ヲ經由シ海仁會本部ニ寄附又ハ讓

渡スルモノトス

○ 辭 令

通信書記 藤沼 喜之

遞信局書記 森田 悟

通信書記補 齋藤 勝夫

同 須貝 智治

集配員 成田 利喜雄

(各通)

海軍公報(部内限) 第四千二百二十九號 昭和十七年十月二十九日

一一四一

1282

集配員 高梨 武夫

第十海軍軍用郵便所員ヲ免ス (九月廿四日海軍省)

通信書記 西廣 健一

第十海軍軍用郵便所員ヲ免ス (九月廿四日)

通信書記補 安井 正次

(各通)

集配員 門倉 恒吉

第十海軍軍用郵便所員ヲ免ス (九月廿四日)

遞信局書記 藤澤 榮吉

第十海軍軍用郵便所員ヲ免ス (九月廿四日)

通信書記 後藤 貞義

第十海軍軍用郵便所員ヲ免ス (九月廿四日)

事務員 前旬 幸雄

(各通)

集配員 中山 兼次郎

同 齊藤 信太郎

第五海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス (九月廿四日)

臺灣總督府地方警視 小野 正木

海南警備府附ヲ命ス (九月廿四日)

海軍機關少佐 今井 和夫

第三課勤務ヲ命ス (九月廿四日海軍省軍務局)

○ 雜 款

○ 郵便物ニ關スル件

本艦宛郵便物ニシテ砲艦神津丸ト神祥丸、富津丸等ト混同誤達セラルルモノ多數有之事務處理上支障不尠候ニ付左ニ依リ發送ノコトトシ發送ニ當リテハ表記ニ充分留意相成度

横須賀郵便局氣付第三十二海軍軍用郵便所氣付

神津丸 (砲艦神津丸)

○ 郵便發送先

自今左ニ依リ發送相成度

司令宛

機關長、主計長宛

軍醫長宛

第十二號驅潛艇
第十號驅潛艇
第十一號驅潛艇
(第三十一號驅潛隊)

舊第二十驅逐隊關係書類ハ左ニ送付相成度

庶務關係 夕霧主計長

給與關係 白雲主計長

(第二十驅逐隊殘務整理員)

<p>(一) ハ郵便物宛名ニ記載ヲ要セズ</p> <p>宛名 發送先</p>	
<p>第二十二航空戰隊 千葉縣木更津航空隊氣付</p> <p>美幌航空隊 同 「ウ壹八八」</p> <p>第十一航空艦隊司令部 同 「ウ壹五七」</p>	<p>横須賀郵便局氣付第三十六軍用郵便所經由</p> <p>「ウ六八」司令部</p>
<p>第二十二設營隊 横須賀郵便局氣付</p> <p>第七五一航空隊支隊 佐世保郵便局氣付第四十二軍用郵便所經由</p>	<p>「ウ壹〇五」ウ壹八六</p> <p>「ウ六九」ウ壹七四</p>
<p>筑紫 横須賀郵便局氣付</p> <p>第一測量隊 同 「セ四六」</p> <p>横須賀鎮守府第三特別陸戰隊 (第十軍用郵便所經由)</p>	<p>横須賀郵便局氣付</p> <p>「ウ八四」ウ壹〇八「ウ壹六六」</p>
<p>第二十設營隊 同 「ウ〇〇」ウ壹八貳</p> <p>弘玉丸 吳郵便局氣付</p> <p>(第二十六軍用郵便所經由)</p>	
<p>第三航空隊第一派遣隊 横須賀郵便局氣付</p> <p>「ウ壹〇五」ウ七參「ウ七八」</p> <p>潮、曙、謎 同 (第十軍用郵便所經由)</p> <p>照月 同 (第三十五軍用郵便所經由)</p> <p>第一海上護衛隊司令部 佐世保郵便局氣付</p> <p>高雄郵便局經由</p> <p>「イ參六」司令部</p> <p>吳郵便局氣付</p> <p>「ヲ貳壹」ヲ貳壹</p> <p>第十七回航班 横須賀郵便局氣付「ウ壹〇五」</p> <p>鴨 横須賀海軍經理部氣付</p> <p>(横須賀鎮守府艦船部隊殘務整理班)</p>	
<p>○正誤</p> <p>十月二十六日辭令欄中小澤主計大佐ノ原職「海軍艦政本部造船兵監督官兼海軍航空本部造船兵監督會計官」ハ「海軍艦政本部造船監督官兼造船兵監督官海軍航空本部造船兵監督官」ノ、「廣島監査官兼玉野監理官ヲ命ス」ハ「廣島監理官兼玉野監理官ヲ命ス」主トシテ勞務ニ關シ監理長ノ命ヲ承ケ服務スヘシノ誤</p>	

海軍公報(部内限) 第四千二百二十九號 昭和十七年十月二十九日

一一四三

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 勅 語

官房機密第一三四七六號

本日聯合艦隊司令長官ニ對シ左ノ 勅語ヲ賜ハリタリ

昭和十七年十月二十九日

海 軍 大 臣

勅 語

聯合艦隊ハ今次南太平洋ニ於テ大ニ敵艦隊ヲ撃破セ
リ
朕深ク之ヲ嘉ス惟フニ同方面ノ戦局ハ尙多端ナルモ
之アリ汝等倍々奮勵努力セヨ

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年十月二十九日(木)
海軍大臣官房

1285

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千二百三十號

海軍大臣官房

昭和十七年十月三十日(金)

○通牒

官房第六一六一號

昭和十七年十月二十一日

海軍省 副官

關係各廳長殿

健民運動秋季國民鍊成ニ關スル件照會

首題ニ關シ厚生次官ヨリ海軍次官宛別紙寫ノ通照會有之候ニ付可然取計相成度

(別紙)

厚生省發人第一二四號

昭和十七年十月二日

厚生 次 官

海軍次官殿

「健民運動秋季國民鍊成」ニ關スル件

大東亞戰爭下一層國民體力鍊成ノ必要ヲ認メラレ候ニ就テハ第十三回明治神宮國民鍊成大會秋季中央大會期

間ヲ期トシ別紙要綱ニ依リ健民運動ノ一環トシテ「健民運動秋季國民鍊成」ヲ展開シ全國民ヲシテ鍊成運動ヲ實踐セシメ以テ國民體力ノ増強ト益々旺盛ナル國民士氣ノ振作ヲ期シ度候ニ付テハ之ガ趣旨御諒承ノ上貴關係方面ニ對シ之ガ實施方御協力相煩度

別紙要綱拔萃

健民運動秋季國民鍊成要綱

一 趣 旨

御稔威ノ下大東亞ノ征戰ト建設ニ着々其ノ成果ヲ舉ゲツツアルノ時天恵亦裕カニ豊饒ノ秋ヲ迎ヘ國民ノ感謝ノ念愈々湧キ士氣彌々旺盛ナリ
此ノ時ニ當リ平素國民鍊成ノ成果ヲ奉納スベキ明治神宮國民鍊成大會開催セラル依テ之ニ對應シ且ハ健民運動ノ一環トシテ全國民ノ鍊成運動ヲ展開シ其ノ實踐ヲ通ジテ益々士氣ヲ高揚シ皇軍ノ赫々タル戦果ニ應フベク明朗ニシテ剛健ナル國民生活ヲ樹立シ以テ戰時國民生活態勢ノ一段ノ強化ヲ期セントス

海軍公報 (部内限) 第四千二百三十號

昭和十七年十月三十日

一一四五

二名 稱

健民運動秋季國民鍊成

三期 間

昭和十七年 自十月二十九日(第十三回明治神宮國民鍊成大會秋季中央大會期間) 至十一月三日(但シ土地ノ情況(例ヘバ 季節、秋祭其ノ他ノ行事)等ニヨリ期間變更アルモ 差支ヘナシ)

四 實施事項

(二)(一) 要 旨
具體要項

(イ) 第十三回明治神宮國民鍊成大會地方大會ノ開催

(ハ)(ロ) 各種大會ノ開催
日常鍊成ノ特別強化若ハ特別行事ノ實施

(三) 實施内容、略

軍務一第一六七號

昭和十七年十月二十九日

海軍省軍務局長

各鎮守府 各警備府 參謀長殿

部外者ノ海軍練習航空隊見學ニ關スル件
申進

一般部外者ヲシテ海軍練習航空隊ヲ見學セシムルコトハ志願兵募集上多大ノ効果アルモノト認メラルルニ付隊務遂行上特別ノ支障ヲ及ボサザル範圍ニ於テ募兵上有効ナリト認メラルル部外團體等ハ之ヲ適宜指導ノ上積極的ニ見學セシムル等ニ依リ軍事啓發宣傳ニ資スル様可然取計相成度

○表彰

表 彰 狀

海軍大尉正七位勳六等功五級 田中正臣
飛行機操縦術地上教育ニ關スル着陸演習機等數種ノ特殊裝置ヲ考案完成シ以テ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金杯一箇ヲ授與シ茲ニ之ヲ表彰ス
昭和十七年十月二十日

海 軍 大 臣

○辭令

遞信局技師 椎名清五郎

(各通)

通信書記 高野 博

同 横田角三郎

遞信局技手 元木 勇藏

遞信手 遠山 作治

横須賀鎮守府附ヲ免シ南西方面艦隊司令部附ヲ命ス

通信書記補 推津 三郎

同 金 染 博

同 甲 斐 做

遞信技手 下釜 美之

第五十一海軍軍用電信所員ヲ免シ南西方面艦隊司令部附ヲ命ス

(各通)

工務員 田村 幹夫

同 木佐貫 泰彦

第五十一海軍軍用電信所員ヲ免シ南西方面艦隊司令部附ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上計四海軍省)

氣象技師 大間 俊二

第八艦隊司令部附ヲ命ス(計四同)

(各通) 海軍大尉 越智 武雄(阿賀野)

海軍大尉 駒 林 巖(同)

軍艦阿賀野審議委員ヲ命ス(計四海軍艦政本部)

海軍公報(部内限) 第四千二百三十號 昭和十七年十月三十日

一一四七

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第四千二百三十一號

昭和十七年十月三十一日(土)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一三二九六號

海軍民政會計規程別冊ノ通定ム
別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和十七年十月二十六日

海軍大臣

官房機密第一三二九七號

占領地ニ於テ軍政施行ノ爲要スル臨時軍事費支辨ニ係
ル經費ニ關シ左ノ通定ム

昭和十七年十月二十六日

海軍大臣

一 左ノ經費ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外臨時軍事
費支辨トス

(イ) 内令ニ基キ設置シタル軍政機關(民政府、民政
部、同出張所等)ニ要スル一切ノ固有經費(人件
費、物件費共)

(ハ)(ロ) 前號ニ直接關係アル施設費
民政上必要ナル道路共ノ他ノ土木建築ノ初度
施設費
(ニ) 接待費
二 海軍民政會計規程第二十二條各號ノ經費ニシテ豫
算上承認シタルモノハ臨時軍事費支辨トス

○通 牒

官房第六三八四號

昭和十七年十月三十一日

海軍省副官

各廳長殿

「ベスト」、「コレラ」等劇烈ナル流行病指
定地ヨリ發著スル軍用航空機ノ檢疫ニ關
スル件通知

今般左記ノ通陸軍省副官ヨリ通牒有之候條了知相成度
記

海軍公報(部内限)第四千二百三十一號

昭和十七年十月三十一日

一一四九

陸亞普第一一三五號

「ペスト」、「コレラ」等劇烈ナル流行病指定地ヨリ發著スル軍用航空機ノ檢疫ニ關スル件通牒

昭和十七年十月十三日

陸軍省副官 川原 直一

海軍省副官 中村勝平殿

首題ノ件ニ關シ別紙ノ如ク定メラレ陸軍一般へ通牒セラレタルニ付通牒候也

(別紙)

陸亞普第一〇七五號

「ペスト」、「コレラ」等劇烈ナル流行病指定地ヨリ發著スル軍用航空機ノ檢疫ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十七年十月五日

陸軍省副官 川原 直一 圖

首題ノ件ニ關シ左ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

左 記

一 流行病指定地ヨリ發著スル軍用航空機(作戰ノ爲檢疫實施不能ノモノ及特ニ指定スル軍用航空機ヲ含マス)ニ對シ當該飛行場所管軍司令官ハ檢疫ヲ實施

スルモノトス

二 軍用航空機ニ關スル檢疫ハ「ペスト」、「コレラ」、痘瘡及其ノ他指定スル他ノ傳染病ニ付之ヲ行フモノトス

三 流行病指定地ヨリ發航スル軍用航空機ノ乘組員及搭乗者ニ對スル檢疫ハ發航前ニ問診、檢診ノ他所要ノ菌檢索ヲ實施スルモノトス

四 流行病指定地ヨリ發航シ他地域ニ著陸スル場合ノ檢疫ハ概ネ前條ニ準シ實施スルモノトス

但シ菌檢索ハ之ヲ省略スルコトヲ得

海人第一七四號

昭和十七年十月三十一日

海軍省人事局長

各廳長殿

辭令公報ニ關スル件通知

來十一月一日以降次期海軍士官名簿改版使用時機迄海軍士官(將官ヲ除ク)少尉候補生及見習尉官ノ補職辭

令ハ現ニ使用中ノ名簿ノ順序ニ依リ掲載（兵科士官中
機關學校出身者ハ從來ノ電報符ヲ使用）ノコトニ定メ
ラレ候

經豫第三號ノ五七〇

昭和十七年十月三十日

海軍省經理局長

關係各支出官
關係各資金前渡官吏 殿

日本銀行代理店設置ノ件通知

國庫事務ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ比律賓ミンダナオ
島ダバオ、同セブ島セブ、同ネグロス島バコロド及同
ルソン島バギオニ設置、十一月一日ヨリ之ガ事務ヲ取
扱フコトト相成候

○ 辭 令

通信書記 小林 茂

第三南遣艦隊司令部附ヲ免ス（海軍省）

海軍主計中尉 戸崎 徹

第四課勤務ヲ命ス（海軍省軍務局）

海軍主計大佐 小澤 嘉藏
廣島海軍監督官事務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前
渡官吏ヲ命ス
同 藤田 傳次

資金前渡官吏ヲ免ス（海軍省經理局長）

海軍軍醫中佐 新藤 信

總務部勤務ヲ命ス（海軍省經理局長）

海軍中佐 小原 尙

總務部首席部員ヲ命ス（海軍省經理局長）

海軍中佐 寶來 邦太郎

第二課勤務ヲ命ス（海軍省經理局長）

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第一潜水戰隊司令官ハ十月十三日旗艦ヲ平安丸ニ變更
セリ

○ 事務引繼

在廣島海軍監督官事務所資金前渡官吏十月二十四日事
務引繼ヲ了ス

新任 海軍主計大佐 小澤 嘉藏
舊任 同 藤田 傳次

海軍公報（部内限）第四百二百三十一號

昭和十七年十月三十一日

一一五二

○事務所設置
舞鶴鎮守府艦船部隊残務整理班事務所ヲ十月二十四日
舞鶴海軍經理部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ
追テ郵便物ハ
舞鶴海軍經理部内舞鶴鎮守府残務整理班宛
(舞鶴海軍經理部)

○事務所撤去
阿賀野艦裝具事務所ヲ十月三十一日撤去ス

部内限

(昭和十七年十月二十六日官房機密第一三二九六號別冊)

海軍民政會計規程

10-31
1293

大臣官房
17.10.3
記録段

海軍民政會計規程

第一章 總 則

第一條 民政會計事務ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル但シ本令ニ規定ナキ事項ニ付テハ會計ニ關スル一般規定ヲ準用ス

第二條 本令ニ於テ民政會計トハ占領地ニ於テ軍政施行ノ爲收納スル租税、手数料、繰入金其ノ他ノ收入及其ノ支出ノ會計ヲ謂フ

前項ノ收納金ヲ民政資金トシ支拂金ヲ民政費トス

第三條 本令ニ於テ民政應トハ民政府及民政部ヲ謂ヒ民政廳長トハ民政府總監、民政部長官及民政部長ヲ謂フ

第四條 軍政施行ニ必要ナル經費ニシテ特ニ指定スルモノ及民政費ヲ以テ支辨シ難キモノハ臨時軍事費ノ支辨トス

臨時軍事費支辨ニ係ル經費ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第五條 民政會計ニ屬スル現金ノ收納及支拂ハ歳入歳出外現金出納トシ取扱フベシ

第六條 民政會計ハ各民政廳毎ニ單一會計ニテ之ヲ整理スベシ

各民政廳ノ收入及支出ノ取扱區分ハ別表第二ニ依ル

第七條 民政府總監又ハ根據地隊司令官（民政部ノ屬スル根據地隊ノ司令官以下同ジ）ハ特別ノ必要ニ依リ前條第一項ノ規定ニ依リ難キモノアルトキハ海軍大臣ノ認許ヲ受ケ別途ノ資金ヲ設ケ整理スルコトヲ得

前項資金ノ會計事務ニ關シテハ本令ヲ準用ス

第八條 民政會計ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

特別ノ必要アルトキハ一會計年度内ニ於テ適宜ノ會計期間ヲ定ムルコトヲ得但シ各會計期間ノ收入及支出ハ當該會計年度ノ終期ニ於テ取纏メ整理スベシ

會計年度ニ關スル規定ハ會計期間ニ之ヲ準用ス

第九條 民政會計ニ屬スル收入及支出ノ年度所屬ハ各現金ヲ收納又ハ支拂ヲ爲シタル日ヲ以テ之ヲ區分スベシ

毎年度ノ收納未済又ハ支拂未済ハ遞次翌年度ニ繰越シ各現金ヲ收納又ハ支拂ヲ爲シタル年度ノ收入又ハ支出トシテ取扱フベシ

第二章 豫 算

第十條 民政府ノ翌年度收入及支出豫算ハ民政府總監之ヲ編成シ順序ヲ經テ海軍大臣ニ提出シ認許ヲ受クベシ

第十一條 民政府所屬ノ民政廳長ハ翌年度收入及支出豫算案ヲ調製シ毎年十二月末日迄ニ民政府總監ニ提出スベシ

第十二條 民政府總監ハ前條ノ豫算案ニ基キ所屬民政廳ノ翌年度收入及支出豫算ヲ審査確定シ順序ヲ經テ海軍大臣ニ提出シ認許ヲ受ケ之ヲ令達スベシ

第十三條 民政府ニ屬セザル民政廳長ハ翌年度收入及支出豫算案ヲ調製シ毎年十二月末日迄ニ根據地隊司令官ニ提出スベシ

第十四條 根據地隊司令官ハ前條ノ豫算案ニ基キ所屬民政廳ノ翌年度收入及支出豫算ヲ審査確定シ順序ヲ經テ海軍大臣ニ提出シ認許ヲ受ケ之ヲ令達スベシ

第十五條 甲民政廳ノ剩餘金ハ乙民政廳ノ民政資金ニ繰入ヲ爲スコトヲ得

第十六條 民政府總監ハ翌年度民政府及所屬民政部間ニ於テ民政費ヨリ民政資金ニ繰入得ベキ金額ヲ豫定シ毎年十一月末日迄ニ關係民政廳長ニ通知スベシ

第十七條 所屬艦隊ヲ異ニスル民政廳間ニ於テ民政費ヨリ民政資金ニ繰入ヲ爲スハ特令ニ依ル

第十八條 民政廳ノ翌年度收入及支出豫算中他ノ民政廳ヨリノ民政資金ヘノ繰入金ハ前二條ノ規定ニ基キ之ヲ計上スベシ

第十九條 各年度ニ於ケル剩餘金ハ第十五條ニ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ次年度ニ繰越スベシ
前項ノ外剩餘金ヲ他ノ費途ニ充ツルハ特令ニ依ル

第三章 收入及支出

第二十條 收入及支出ノ豫算ハ民政廳長之ガ執行ニ任ズ

第二十一條 左ノ收入ヲ民政資金トス

一 租稅收入

二 官業及官有財産收入但シ海軍ノ固有ノ會計ニ屬スルモノヲ除ク

三 繰入金

四 雜收入

五 借入金

第二十二條 左ノ經費ヲ民政費支辨トス

一 民政事務及一般行政上要スル人件費及物件費

四

1297

- 二 民政上特ニ施設スル道路其ノ他ノ土木建築ノ維持補修費
- 三 徴 税 費
- 四 各種事業及資源開發復興ノ爲要スル經費
- 五 各種事業、資源開發復興及一般民政上要スル研究調査費
- 六 各種事業、資源開發復興及一般民政上要スル補助金
- 七 警察行政ノ爲要スル經費
- 八 教育行政ノ爲要スル經費
- 九 拓殖及勞務行政ノ爲要スル經費
- 十 民政上要スル醫療費
- 十一 土地處理ノ爲要スル經費
- 十二 民政上特ニ要スル機密費
- 二十三條 收入及支出支辨科目ハ別表第二ニ依ル
- 第二十四條 租税及諸手数料ノ賦課徵收手續ハ民政廳長之ヲ定メ順序ヲ經テ海軍大臣ニ報告スベシ
- 第二十五條 民政廳長他ノ民政廳ニ屬スル民政費ヨリ民政資金ニ繰入ヲ爲サントスルトキハ其ノ都

五

度當該民政廳長ニ協議スベシ

第二十六條 獻納金ハ別ニ規定アル場合ノ外海軍大臣ノ認許ヲ受ケ民政資金ノ收入ト爲スコトヲ得

第二十七條 公債ヲ發行シ又ハ借入ヲ爲サントスルトキハ豫メ海軍大臣ノ認許ヲ受クベシ

第二十八條 民政費ノ支拂ハ民政費豫算ノ範圍内ニ於テ收納現在金ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十九條 民政廳長民政費豫算中目ノ金額ノ彼此増減ヲ要スルトキハ之ヲ專行シ民政府總監又ハ

根據地隊司令官ニ報告スベシ但シ旅費、機密費及補助金ニハ豫メ民政府總監又ハ根據地隊司令官

ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ズ

第三十條 現金ハ常時ノ支拂ニ要スルモノヲ除クノ外國庫金取扱銀行ニ預託スベシ但シ國庫金取扱

銀行ノ設置ナキ地ニ在リテハ他ノ確實ナル銀行ニ預託スルコトヲ得

第四章 現金出納官吏

第三十一條 出納官吏、出納員及其ノ收入支出取扱區分ハ別表第三ニ依ル

第三十二條 分任出納官吏ハ民政廳長部下職員ニ之ヲ命ズ

第三十三條 出納員ノ資格及其ノ任命ハ民政廳長ノ定ムル所ニ依ル

民政廳長前項ノ資格及其ノ任命ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ海軍省經理局長ニ通知スベシ

第五章 決算

第三十四條 収入及支出ノ決算ハ収入及支出豫算ト同一ノ區分ニ依リ民政廳長之ヲ調製シ年度經過後三月以内ニ順序ヲ經テ海軍大臣ニ提出スベシ

第六章 物 品

第三十五條 民政會計ニ屬スル物品ハ民政用通常物品トシテ整理シ之ガ出納機關ハ民政府總監又ハ根據地隊司令官ノ定ムル所ニ依ル

第七章 検査及證明

第三十六條 主任出納官吏、分任出納官吏及出納員ハ民政會計現金出納計算書（前渡資金出納計算書ノ様式ニ準ズ）ヲ毎月調製シ民政會計現金收支證憑書類（資金前渡官吏計算證明證書調理様式ニ準ズ）ヲ添ヘ分任出納官吏及出納員ハ主任出納官吏ヲ經由シテ之ヲ翌月末日限會計監督ノ所掌區分ニ從ヒ特設海軍經理部長ニ提出スベシ

第三十七條 特設海軍經理部長ハ前條ノ出納計算書及收支證憑書類ノ下検査ヲ爲シ意見ヲ附シテ之ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

第三十八條 本令ニ依ル現金出納計算ノ責任解除ハ海軍大臣之ヲ行フ

第三十九條 民政用通常物品ノ出納計算ノ検査及責任解除ハ會計監督ノ所掌區分ニ從ヒ特設海軍經理部長之ヲ行フベシ

第八章 雜 則

第四十條 本令施行ニ關シ必要ナル細則ハ民政府總監又ハ根據地隊司令官之ヲ定メ海軍大臣ニ報告スベシ

附 則

第四十一條 本令ハ昭和十七年十月一日ヨリ之ヲ適用ス

本令適用前ノ取扱ニ係ル當該會計事務ハ本令ニ準ジ之ヲ整理スベシ

第四十二條 昭和十七年度收入及支出豫算ハ民政府總監又ハ根據地隊司令官成ルベク速ニ之ヲ調製シ順序ヲ經テ海軍大臣ニ提出スベシ

(別表第一)

各民政廳ノ收入及支出取扱區分表	
民政廳	收入及支出取扱區分
民政府	民政府總監ノ指定スル收入及支出
民政府所屬ノ民政部	管轄區域内ニ於ケル收入及支出但シ民政府總監ノ指定スルモノヲ除ク
其ノ他ノ民政部	管轄區域内ニ於ケル收入及支出

(別表第二)

民政會計收入及支出科目表

考 備	收入科目		解 疏	略電 號信
	款	項 目		
一 本科目ノ改訂ハ海軍省經理局長ヲシテ其都度通牒セシム 二 整理上必要ノ際ハ各民政廳長ハ節ヲ設クルコトヲ得但シ此ノ場合ハ海軍省經理局長ニ通報スルモノトス	民政資金	民政資金		一ア
		租稅收入	所得稅共ノ他ノ租稅收入、關稅收入共	一キ
		官業及官有財產收入	各種官業收入、官有物拂下代、同貸下料等(海軍ノ固有ノ會計ニ屬スルモノヲ除ク)	一ユ
		雜收入	手數料、沒收金、違約金、獻納金、其ノ他ノ雜收	一メ
		繰入金	剩餘金及他ノ民政資金ヨリノ繰入金	一ミ
		借入金	公債收入共	一シ

考 備	収入科目ニ於ケルモノニ同ジ									
		豫備金	繰入金	雑件費	機密費	地勢費	醫療費	拓務諸費	教育諸費	警察諸費
		特ニ要スル分	他民政資金若ハ翌年度收入ニ繰入ルル分		特ニ要スル分	土地處理ニ要スル分	藥品、醫療品ニ要スル分共	勞務ニ要スル分共	教育行政ノ爲要スル經費	警察行政ノ爲要スル經費
		ニネ	ニツ	ニソ	ニレ	ニタ	ニヨ	ニカ	ニワ	ニオ

1305

(別表第三)

現金出納官吏及其ノ收入支出取扱區分表				
出納	官吏 (員)	收入	支出	取扱區分
主任出納官吏	民政府主計課長	民政府ニ屬スル	民政府ニ屬スル	民政府ニ屬スル民政會計ノ收入及支出
	民政部主計課長	民政部ニ屬スル	民政部ニ屬スル	民政會計ノ收入及支出
分任出納官吏	第三十二條ノ規定ニ依リ民政廳長ノ命ズル職員	主任出納官吏ニ付定ムルモノニ同ジ		
出納員	第三十三條ノ規定ニ依リ民政廳長ノ定ムル所ニ依ル	右	同	
備	<p>一 民政廳長ハ第七條ノ規定ニ依リ設置シタル資金ニ付テハ本表ニ依ルノ外適宜民政廳ノ他ノ職員ヲシテ主任出納官吏タラシムルコトヲ得</p>			
考	<p>二 民政府總監ハ所屬民政部職員ニ民政府ニ屬スル民政會計ノ分任出納官吏又ハ出納員ヲ、民政府職員ニ民政部ニ屬スル民政會計ノ分任出納官吏又ハ出納員ヲ命ズルコトヲ得</p>			